

# オリーブの樹

第116号

2013年3月17日

## شجرة الزيتون

早期釈放！ 重刑策動をはね返し、重信さんを支えていこう！



### 目次

- P 2 3・30土地の日に 重信房子
- P 3 1月2月の歌 重信房子
- P 4 独居より 重信房子
- P 18 出来る事を細かく続けよう！ 米澤鐵志
- P 19 日々雑感 萩尾遼

重信房子さんを支える会

### 3・30土地の日に

イスラエルによる土地の「強制収用」という名の強奪に、ゼネストをもって立ち上がったあの土地の日、そして引きつづく闘いに連帯を伝えます。

イスラエルの土地の強奪は、67年の戦争で占領した、東エルサレムを含むパレスチナ西岸に、すでに約250の不法な入植地をつくり、52万人のユダヤ人入植者が占領しています(国連調べ)。去年、国連総会の決議によって、世界がパレスチナ国家を認めると、イスラエル政府はさらに入植者の住宅3000戸を西岸と東エルサレムに建設すると公言してきました。

国連人権委員会は、去年3月に、こうした入植地の調査を決定し、今年3月18日に調査報告書を提出します。そこには、「イスラエルの西岸における入植活動はすべて不法であり、すぐ終わらせなければならない」と記されていると報じています。国際法ばかりか、「民間の集団移動」の強制を禁じたジュネーブ条約にも違反し、「不当な土地の占領は、パレスチナの水資源や農地へのパレスチナ人のアクセスを妨げ、隣接して生き残れるパレスチナの自決の権利を侵し、併合支配に至っている」と強く非難しています。

イスラエルは、パレスチナ占領を圧倒的な軍事支配・虐殺であがなえばあがなう程、自らの弱さを露呈するばかりです。最早、占領が永続するはずもありません。

土地の強奪に抗し、不退転に正義の闘い、生存の闘争を生き抜くパレスチナに勝利を！

脱原発のこの地から連帯し、共に！ 勝利の日まで！

重信 房子



### 一月二月の歌

重信 房子

常夜灯闇に濡れつつ輝けば冬雪舞うごと雪降り始む

囚徒らが雪かき上げればやわらかい黒土の上になずな萌え始む

獄の真夜霜に染まった運動場十六夜の月がそつと降り立つ

逆光に金色に輝く一本のマンサク満開黄昏に溶ける

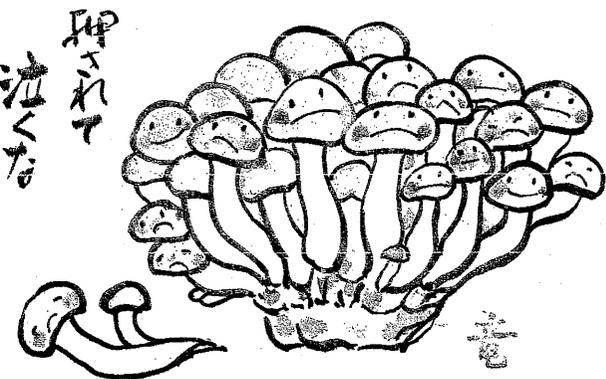
パレスチナ冬の星座を追いかけてギリシヤ神話を語りし友よ

冬晴れの朝日を浴びてオナガ舞う獄の根雪に春訪れるごと

一月尽寒さいや増す校庭でおしくらまんじゅう押されて泣くな

如月の星空見つめシリウスを捜して「あれはオリード」と君

沈丁花梅の香りを捜したり雨水迎えし獄窓に立ちて



2016年1月10日 - 3月13日

日米同盟関係強化……円安で輸出産業を喜ばせ、ムード的に「自民党人気」……  
参議院選で“ねじれ”を解消し、「改憲」と弱者切り捨て（2月22日）

重信 房子

1月10日 今日も晴天。元旦からずっと晴天続きです。八王子は7〜3℃。それでも晴天に朝1時間スチームが入ると、カイロを足裏に置いているので寒さも緩和されています。

今日午前中主治医の診察がありました。「今年もよろしくお願いします」と挨拶。この間の体調について聞かれ、肩関節周囲炎がまだ治らないこと、それでも痛みは軽く、今年に入って鎮痛剤は1回のみ使用などを伝え、Drは手足のこわばりは、血液検査でリウマチは陰性だったので末梢神経障害の抗ガン剤副作用かもしれない、また血圧が150台と少し高いが、「薬を飲むか微妙なところ」とのこと。今のところ薬を飲まないで様子を見ることにしました。指名医歯科はこれから始まることも確認。大腸ポリープ摘出は外科の担当なので、主治医とは話は具体的にありません。鎖骨下に埋め込んだCVポートをフラッシュして終了。

午後姉の面会。正月の挨拶でゆっくり話すつもりが、いつもあれこれ実務的なことも依頼するのでバタバタとしてしまいました。今年も姉にまたお世話になります。カイロや雑誌差し入れてくれました。

今日はまた処遇課より告知。「1/9重信のもの128条により交付不可。釈放時交付」との1通。誰だろう。Mさん「オリーブの樹」に載せた一文、カラーのきれいなハガキなど送ってくださいました。感謝。

1月11日 今日は「教育的処遇日」。作業補助や炊事などの懲役囚の人たちのための休業日。運動もない日です。毎月2回金曜日がその日にあたります。早めの入浴。姉の昨日差し入れ分受取り、またカルロスからのお便り、大活躍中のTさん、弾圧を受ける度にその倍以上の力で立ちあがって健在の様子。賀状ありがとうございます。メイの友人からもT夫人からもありがとうございます。明日から連休です。読みたい本がいくつも手元にあり、学習しつつゆったりとした日にしたい。

1月14日 連休終わりの成人の日。予報通りの初雪となりました。起床時は雨でしたが9時過ぎからぼたん雪。10時過ぎには粉雪にかわり、見る間に庭が白一色に染まりはじめました。東京ばかりか関東一帯

とも初雪の成人の日となったようです。最高気温は5℃。昨日までの輝く晴天の冬は白銀の世界へ。夕方には雪も止み静かな夕暮です。差し入れてもらった本などメモを取りつつ学習中。「中東の政治学」や「フォーリンアフェアーズ」など。

1月15日 すごい晴天に白銀の視界！ 朝焼けの紅が南に低く広がり、なんだかおごそかな朝です。今日は通常の運動のペランダが雪のため「運動中止！」の声。残念！ 久しぶりに外気にまた雪に触れたかった！ そしてすぐ入浴。一番風呂が早めです。連休中のお便りや雑誌、それに読みたかった「季刊アラブ」バックナンバーも届きました。ありがとうございます。Kさん「雨戸開けはさく光る青空に感謝感謝と色付き楽しむ」の一首と、みごとな大きなはっさくがたくさんあった樹の写真。冬なのに！ 冬収穫それとももう春近いのね。ありがとうございます。Mさんは正月の句「初夢の原産産果たす年」、フェイスブック始めていますおらが春。いい句ですね。それでも「メール、フェイスブック、ツイッターを伝達手段として急速に広がった金曜デモも、その伝達手段が持つ欠陥があるのじゃないか、そんな気がしています」と。

1月16日 今日も雪で、水びたしのためペランダ運動は中止でした。午前中、「今日は午後3時頃、指名医の先生が歯科治療です」とのこと。午後、先生がみえて、ていねいにチェックしていただき、ブリッジ（歯3本使う）で上下こわれた3ヵ所について、東拘で応急処置していましたが、東拘で左上の部分的に義歯などできないまま（応急処置のみ）にしていたので、噛み合わせが長い間ズレてしまい、そこに義歯を補填する「すきま」すらないことがわかりました。歯は再生しないのですが、そのかわり、なくなったところは自然と噛み合わせをズラしてすきまをなくしてしまうのを初めて知りました。義歯を作ろうとしたら下の歯を削ってまたは抜いて、上に空間をつくるしかないとのこと。それで右側の方の上下に部分的な義歯を入れてもらうことにしました。Drはクライアントに一番良い方法を選んでくださって、学習しつつ治療を始めま

した。ありがたいことです。5時点呼過ぎに治療を終えました。房で遅れて夕食。パンタさんお便りありがとうございます。元気な様子ですね。「選択」「人民新聞」「アジア新時代と日本」も受け取りました。

1月17日 今日も雪融けず白銀世界の運動場です。園芸などを担当している懲役囚の一団がせつせと雪かきをして、午後にはトラックと芝の一部が雪の下から表れました。まだ全体は白く覆われています。寒さのせい私の血圧は昨日160、今日154と高めです。新聞を開けると「武装勢力日本人を拉致」の記事。アルジェリア南東リビア国境近いイナメナスの天然ガス関連施設に16日朝武装勢力が突入して人質を連れ去ったとの記事。アルジェリア軍はこれまでの「反テロ戦争」のいきさつから「人質を連れ去る」ことを許すはずはないし、砂漠での連行は難しいのに？

アラブでは反植民地闘争やナセルエジプト大統領の闘いから、「アラブ民族主義」の流れを汲む政権が王制以外の国々の政権の中心をずっと担ってきました。エジプト、イラク、シリア、リビア、アルジェリアなどです。この政権はイスラム勢力の政治活動を統制し、イスラム勢力側の「アラブ民族主義」への共感や妥協で共存してきました。

それがソ連のアフガン侵攻、イラン革命を経て、イスラム勢力が政治活動、武装闘争にコミットしはじめ、東欧ソ連崩壊を契機に権力闘争が激化していきました。ソ連東欧を後楯としていた民族主義政権の制度疲労と弱体化に、イスラム勢力が社会革命を政権奪取として対決しはじめたためです。その発火点がアルジェリアでした。

「ポスト冷戦」の新しい制度を「複数政党制と民主選挙」からアルジェリア政権はめざしました。植民地独立闘争を闘いぬいたFLN（民族解放戦線）がずっと政権を握ってきたのですが、FLNの特権化や経済政策の失敗などは国民に不満をもたらしていました。アラブ初の「実験的試み」の民主的選挙はイスラム勢力が圧勝するところでした。しかし政権側はこの選挙で敗北を認めず、「選挙無効」としてしまいました。

以来、イスラム勢力の中から武装闘争で権力奪取する勢力も現われ、FLN政権側はそれらを非合法化。ずっと混乱と対立にあって、1990年代に10〜20万人の命が失われといわれていました。ことにイスラム武装勢力の無差別爆破攻撃は住民を苦しめ、アルジェリア軍の権力を拡大しました。70年初期のブーメディエン大統領時代の若い外相で「策士」といわれ

たブーテフリカを大統領にしてやっとなり流血を終わらせたといわれていました。

でも実際には攻防はより先鋭化し地下化して続いています。こういう背景ですから「人質解放」のためにアルジェリア軍がイスラム武装勢力に譲歩することはありえないのです。まずイスラム武装勢力の壊滅第一です。

夕方「オリーブの樹」115号受取りました。ありがとうございます！ 新年の句として表紙に推した3つの中から選んでくださった一首です。悪くないですね。この樹の絵に合って。ありがとうございます！ それから「さわさわの頁」大阪の脱原発の人々の様子がよくわかっていいですね。「大阪 びっくり！ 逮捕ばかり！」を読んで次なる大弾圧、いやがらせで住民を蹴散らそうとしている意図がみえみえですね。住民の量的な参加拡大こそ、正当な表現に権力の介入をとどめる力があるので、さらなるみんなの知恵と力に期待します。「初詣は関電へ！ 大和高田新年金曜デモ報告」も愉快ですね。脱原発のさまざまな表現行動が、「弱者切り捨て」を企てる自民党政権に制約を与える闘いへと発展することを願っています。また『革命の季節』の広告もありがとうございます！ この写真ならいいですね。表紙もこのパーシムたちやライラたちならまだよかったです……と思いつつ。編集部は意を汲んでくれたのか、同感なのですね。「オリーブの樹」を読むと、次の「オリーブの樹」に向けて日誌を記すのがまた楽しくなります。みんなに感謝です。

1月18日 今日の八王子は最高4℃最低-5℃。八王子の冬らしい温度になってきました。これから1ヵ月くらい「寒い！」という日が続きます。まだ雪は融けていません。昨日は雪を除けたペランダに出てラジオ体操など30分、今日もまたペランダへ。すみっこに凍った雪が少し残っていて、触れると雪というより氷です。広くないペランダを15人ほどでぐるぐるウォーキング。でも陽が当たるので晴天の冬の寒さは風もなく我慢できます。

今日はHさん、Sさんから嬉しいお便りをいただきました。『オリーブの樹』115号を落手しました。日誌の12・27でアハリー・アラブ病院を支援する会の通信をお読みくださったとあり、嬉しく存じます」という書き出しで、励ましのお便り。『革命の季節』も読んでくださるとのこと。こちらこそ嬉しい出会いです。いつも「アハリー・アラブ病院を支援する会」のニュース・レターは現地の実情を直接的に知るチャン

スを与えてくれるもので興味深く読んでいます。70年代からずっとパレスチナ支援連帯を地道に続けてこられたMさんや友人たちやお世話になったOさんの文、Sさんがまとめてくださるニュースなど身近な感覚で読んでいます。これからもさらなるご活躍を！感謝と連帯を送ります。他に宮崎先生わざわざありがとうございます。こんな句が添えられています。“街路樹が樹氷のような雪の朝”“一人でも独りではない世を作れ”。先生の意気を受け取りつつこちらでも張り切ってきます。Kさんありがとう。Tさん「老眼回復法」(「より目」をつくるのが良いトレーニング) 図解までありがとうございます。また「毎日新聞の『ひと』欄の記事を読んでショックを受けました。韓国は近年死刑廃止の市民の取組みめざましく、実質死刑を止めた国として国際的に認められるまでになっています。その運動の中心人物は、日本に長くいて、滞在中に日本で死刑廃止の思想を学んだと述べていたからです。我々は何をしているんだと思いました」とあります。そこから学んで一歩進むことがいいところです。きっとTさんのようにとらえ返した人がいると思います。

雪はまだ庭の夜灯に美しく輝いています。

1月19日 日なたの雪はずいぶんなくなりましたが、まだ広範囲の雪。そうだ、今日は69年東大闘争の安田講堂陥落の日。Uクンが「ブントの旗を中核や他の党派より最後まで立て、振り続けるぞ！」と豪語して明大社学同はR介を隊長に多く立てこもりました。私たちはAクンらの指示の御茶ノ水から街頭バリケード戦で、「本郷まで解放するぞ！」と、明大講堂拠点に出撃しました。Uクンのブントの旗は最後まで振り続けられ、陥落の時はくやし涙で泣いてTV見ている人もいました。ちょうど送ってもらった「文藝春秋」2月号に鈴木正文さんが慶應大学1年生で、やはり社学同として参加し、立てこもった様子を、当時をそのまま思い出すような文章で記されています。未熟でもやむにやまれぬ正義に命をかけた若者たちが全国にいた日本社会が心豊かだった時代の記録です。

アルジェリアでは軍が突入して武装勢力壊滅に乗り出しました。良い悪いは別にして現実の攻防のありのままの掃蕩です。結果として人質が助かれればラッキーという考え方と見ざるをえません。結果はまだわからないようです。フランス軍のマリへの介入が口実きっかけ理由になって闘いはさらに紛糾しそう。

1月20日 大寒です。アルジェリア軍は19日まで

に3度の制圧攻撃を行ったとのこと。フランスのマリ介入、イスラム武装勢力が反撃を拡大、アフリカ、欧州へとさらに住民を犠牲にしないか……と気がかりです。

【編集室註：1/17-20日の日誌は22日投函されたものです。】

1月21日 すごい快晴、少し寒さも柔らかい。最高8℃最低-3℃。まだ庭の日陰には残雪が輝いています。「パレスチナに愛を」のブログのプリントアウト、「通販生活」ありがとうございます。ずっとブログは続いているのですね、ありがとうございます。

宮崎先生、昨年来の「白虎隊」をTVで見て「八重の桜」が会津戦争を会津の視点から取り上げたというので見ておられ、本を見つけたので送ってくださったとのこと感謝です。「薩長の暗策に敗け幕府墜つ」「無残やな飯盛山の白虎隊」の句も。本楽しみです。

Mさん久しぶりに大阪関電の金曜デモ、千、2千の集団は消えてやはりさびしい。しかしこの寒空の中、くじけることなく継続をしている人たちがおられるのが力になるとのこと。やはり脱原発は日本を変える力ですね。寒中見舞いありがとうございます。「ガサ入れ」が1月8、9日と続いている大阪(「オリブの樹」115号の弾圧事件の続き)。便りを出す余裕もないと恐縮くださって、こちらこそ連帯の心を送るしかありません。

Kさんクローバーのお便り感謝。「オリブの樹」115号読んでくださって、病気への励ましばかりか、心に響く連帯の心遣いありがとうございます。Tさん心不全大丈夫？ この機会に楽をして過ごしてください。なお『革命の季節』書評ありがとうございます。3・30は足立さん講師、いいね！ 還暦もうすぐ！おめでとう。前進の年にしましょう。「救援」Kさんありがとうございます。

1月22日 起床時から雨で運動中止。

新聞では一面に「日本人7人死亡確認」の記事。最悪事態となったとの論調。この事件を自衛隊の武装や救出部隊派遣へと「集団自衛権」の容認に加えて利用しようとするのが危険です。日本から自衛隊が武装して行っても、今ですら日本が米国と一体化しているとしてターゲットにされている上に、害はあっても何も益はありません。何よりも現地の生活、社会基盤を学び、日本と違う価値観の世界で生きることを理解し覚悟することです。個人はそれぞれに暮らせますが、企業命令によって実情も知らず現地の社会と隔離されて仕事し生活するのは、政権との合意があっても「危

険」はつきまといまいます。住民たちに歓迎されているとはいえませんから。日本人ばかりか、非日本人の失われた命は等しいことを忘れないようにしたいものです。

竜子さん色彩豊かな「オリブの樹」115号の表紙の絵ありがとうございます。「ゆず」と思ったけど「ダイダイ」でしたか！ そうか……昔わが家が食料品店「日の出屋」をやっていた頃の「お飾り」伊勢エビやしめ縄の真ん中は橙でした！ 広辞苑を引いたら「回青橙」とも呼ばれ、「果実は冬に黄熟するが翌年の夏に再び緑色に戻るなのでその名がある」とのこと。そう、ダイダイは子どもの頃、ゆずより身近でした。皮は胃薬になるし。Nさんが議員時代、九州視察でおいしそうな「みかん」を買ってきてくれたけど、みごとすっぱかったと竜子さん。それが橙の思い出、楽し気ですね。Nさんの苦笑い思い浮かべています。

1月23日 昨日の雨は夕方には晴に変わり、今日は朝から晴天。久しぶりの運動場での体操です。まだ日陰に残雪があって、手にとってみるとなんだかつかしさが溢れる雪です。「久しぶりなので運動場を一周する！」と私が走り出した他の3人も一緒に走りました。1周半フーフーと走りを止めてしまいましたが、2人の若人はさらに2周走ってました。「あー、寒いのに暑いね！」。走った後は身体がポカポカ気持ちいい。戻って少し汗ばんでいるのにびっくりです。

午後は主治医の診察。体調を聞かれ、肩関節周囲炎の痛みが少し辛い時があるが、手足のこわばりなど大分よくなっていること、食欲も旺盛と伝えました。でも測ったら血圧は161と高め、少し時間をおいてパジャマの袖も脱いで測ったら141でした。主治医に指名医歯科の進行について伝えました。それからCVレポートのフラッシュをしました。

『八重の桜』の本届きました。これから読みます。Kさんお便りありがとうございます。病院の仕事多忙続きのようですね。元気で何よりです。松下竜一さんの八回忌で、小出裕章さんの講演されたテープを、良い話を全文起こしたのが、他の文と一緒に本になったと送っていただきました。感謝！ 同い年、元気でさらに！ 夫たちにもよろしく。

1月24日 朝から少し曇っていたけど朝食後晴天。ベランダの運動も寒く感じない。身体が寒さになれているせいかもしれません。獄にいても日々スケジュールや行事がありますが、今日は図書を2週間に一度一般本3冊、特殊本(職業の本や趣味の本)2冊を借り

る日です。それから1ヵ月1回の日用品の購入申請したものを受け取る日。今月の日用品は、たとえば切手、カイロ、チリ紙、歯ミガキチューブ、歯ブラシ、便箋、封筒、シャンプー、ニベアを購入。下着類を購入する時もあれば宅急便を出したり、新聞雑誌本も購入します。それらが「消費生活品」です。

また今日は「新春クラシックコンサート」午後13時から14時まで。迫力満点とてもよかったです。毎年あるようでしたが、いつも点滴治療日と重なってしまい、今年初めて参加観賞しました。黒田晋也歌、黒田聡子ピアノ、早稲田桜子ヴァイオリンのお三方による演奏です。はじめは歌「冬景色」「雪」「雪の降る町」など静かななつかしい歌から。そして「モンティのチャルダッシュ」のヴァイオリン独奏。これがすばらしい。のちに15分間ほど「バッハのシャコンナ」のヴァイオリン独奏もあり、ヴァイオリンの無限な感情の響き、生演奏はやっばりすごいです。アンコールでは「りんご追分」と「見あげてごらん夜の星を」。八王子医療刑務所を番組で紹介するとのことで、TVチームが撮影していました。久しぶりに生演奏クラシック、身体を刺戟します。

1月25日 早くも今朝「第2回歯科治療朝9時から」と伝えられました。9時に診察室に入るとドクターはニコニコ。あれ、もう義歯(部分入れ歯)をつくって来ました。あいさつして「もうできたのですか？」と尋ねると、「ええ、ちよつとがんばってつきましたよ」とおっしゃりながら、装着し調整してくれました。とても薄い作りです。ドクターはプラスチックの方がこうした施設では修理しやすいし、金属製のもの壊れたら修理がきかないそうです。「割れたりしますか？」と聞くと、「おせんべいを食べてパリッと割れちゃうこともありますよ」。気をつけて扱わないといけないみたいです。慣れるまで大変そう……。「奥歯の義歯を支えるために金具が前歯にかかります。見栄えは悪いけど、それは我慢してください」とおっしゃる。噛めるようにするのが第一ですものそれは理解しています。口内装着の仕方や保管(水につけるか濡れタオルに挟む)の仕方を教えてくれて微調整したらもう終り。こんなに早くできたなんて！ これまで東拘でもここでも「義歯は作らない」という決まりで、その分抜いた東拘の時から10年。放置を強いられて噛めず苦労したのが、あっという間に噛めるようになりました。「あと1回以上チェック調整が必要です」とのこと。Drも抜けたままで噛み合わせが大きく変化

したのは困ってたけど、なんとか作ってくださいました。プラスチックが割れないか不安です。昼食は口内異物感で食べにくいけど噛めます。慣れていくでしょう。

M子さんお便り資料ありがとうございます。彼は恒例の年末年始の釣り三昧！ 天候は悪かったといっても、去年最後の大海日落日と今年のご来光のまぶしく楽しい写真ありがとうございます！ それに随分大漁ですね。お便り読んで私もお刺身が食べたくくなりましたよ。資料は来週受け取れそうです。デジカメ歌人の大寒の写真は雪を穂にのせたエノコログサが寒風にそよいでいるいい写真です。大寒の一首“学び舎の一、二、三の声少し汚れ身揺さぶり青き香匂う”。

1月26日 今日は6℃から-4℃。庭の雪も根雪になって残ったままです。昨日の夕刊と今日の朝刊「アルジェリア襲撃事件」の犠牲者、生存者が政府機で帰国の記事。当事者家族、友人関係者の想い哀しみが伝わってきます。記事の中にアルジェリア人同僚たちがターバンを巻いてくれて顔を隠せと武装勢力から日本人を守ってくれて命を助けられたという話に救われる思いです。私たち自身の闘いの限界や教訓を思い返しています。文化や歴史的背景は違っても人間的良心は万国共通、ことにおせっかいなくらい他者を助ける習慣文化のアラブ人、アルジェリア人の姿が浮かびます。

でもパレスチナ解放闘争の時代の中で、「ゲリラ戦」を闘ったアラブ民族主義の系譜とアルカイダ系の宗教原則の系譜の闘いは歴史もまったく違っています。アラブ民族主義運動の中で、反植民地・反イスラエル抵抗運動を闘ってきた系譜は民族解放、建国闘争の中で政治闘争のもとに「軍事的役割」が規定されています。それらはアルジェリア解放に勝利した現政権もパレスチナ解放運動組織にも共通していました。対仏アルジェリア独立解放闘争でもイスラエル占領に立ち向かうパレスチナ抵抗運動でも、敵の虐殺に対応した非妥協な軍事闘争を闘ってきました。しかしそこには住民と共に住民を護り、住民を代表する正義がありました。

しかし80年代アフガニスタンでの反ソ連の闘いの中で、アメリカCIAと共同し、その後帰還したビンラディンに代表されるイスラム戦士ムジャヒディーンは、こうした「アラブ民族主義運動」に当初から敵対してきました。「イスラム国家建設」に批判・反対する勢力には無慈悲に銃口を向けたりし、住民に対してもそうです。「政治目標に基づいた軍事的役割」を住民を基礎に考える勢力、たとえばイスラム勢力のハマス

もアルカイダには批判してきたように、住民を恐怖におとしめたりします。

ペレストロイカを受けとめて、アラブで「複数政党制」の試みをはじめて行ったアルジェリアでの総選挙の失敗（多数派となったイスラム勢力FISを政権が非合法化）後90年代から北アフリカでの攻防は激しくなりました。

しかし何といっても9・11からブッシュ政権による「反テロ戦争」の過剰な「せん滅戦」はイスラム武装勢力の「生か死か」の「せん滅戦」を恒常化させてしまったのです。

「アラブの春」は住民に政治参加、意思表示の機会を与え、政権や制度変革を実現する道を開きましたが、同時に欧米外国勢力による介入武器流入はアルカイダ勢力を補完してきました。かつての宗主国米欧の露骨な「新植民地支配」はリビアからマリへと、権益を強奪し続ける分、アルカイダ勢力の登場を助け活発化させてきました。住民は、介入勢力——米欧からアルカイダまで——に翻弄されています。アフリカを「アフガン化」するのはそうした勢力です。

社会的公正に基づく社会秩序をいかに地域に実現できるか、実現する政治権力を復権させなければ、軍事力によっては解決できないにもかかわらず危機的な事件は続くでしょう。

「誇り高い」イスラムアルカイダ系の人々は、イスラム教徒やイスラムの知性から批判されれば、ますます頑なに武装し、みずからの生存のためにさらなるせん滅戦を闘うでしょう。その現実、米欧の介入によって激化するアルカイダ系の勢力に対し、アラブ民族主義のかつての旗手でもあったアルジェリア「政権」は「強権」といわれようと自前の力で解決したことは住民から賞讃されているはずで

こうした世界に「アルジェリア武装事件」を奇貨として「自衛隊武装派遣」を言いだすのは愚かなことです。武装すればするほど、日本企業、日本人は米欧侵略者と同様に、さらにせん滅戦の渦中に躍り込むことになるからです。

1月28日 昨夜の雪で朝日にきらきら。獄庭は雪景色です。6—5℃の週末より少し暖かな9—2℃。「フォーリンアフェアーズ」や『今こそ（暗闇の思想）を』（小出裕章著）、原発という絶望、松下竜一という希望、「かりはゆく」など受け取りました。ありがとうございます。T子さん、良い本ですね。松下竜一さんと重なる小出裕章さんの思想が本となって読み返すと

また理解できます。「フォーリンアフェアーズ」は日本のこといくつか論文。これから読みます。午後には懲役の人たちの雪かきと太陽で雪は取り除かれました。でも根雪となった日陰にはまだ広く残っています。

1月30日 今日は最高温度が10度を越えるらしい。陽の注ぐ晴れが続きます。朝に3時から第3回歯科治療があると告げられました。9時半からTV鑑賞。伊勢神宮から鳥羽、真珠の産地から松坂肉まで俳優による旅めぐりの番組でした。うるさいバラエティよりいいです。

終わってすぐ運動場へ。寒くない！ ラジオ体操のあとトラックのぬかるみを避けて走っていると、向こう側、立入禁止のあたりに逆光に黄緑、むしろ金色に輝く花を満開に付けた3mくらいの本の木！ あ、黄梅、蠟梅？（あとでマンサクだと思っています）。きらきらきれいです。看護師さんが側まで行って「黄色のひもみたいなひらひらが花びらみたくに咲いている」と花の姿を説明してくれました。マンサクみたい！ うれしいな、寒い空気、下には根雪がいっぱい広がる中に、すつくと金色に輝いて金縷梅ともいうのですよね。何だかラッキーな気分。みんなも「ふんきれい！」と楽しみました。

戻って血圧測ったら高すぎたのでパジャマなど脱いで腕に余計なものをつけずに計り直して139と64。午後は3時半過ぎから歯科治療。左側上奥が床のプラスチックが当たって痛みがある。でも両側で噛めて、これまでは食事が配られたら、噛めそうなものを食べていたけど、何でも噛めて快調ですと伝えました。東拘にいた頃はピーナツもおせんべいもバリバリ食べられたのですが、治療できず10年過ぎてから悪化してしまっただけ、今指名医制度で手遅れつつなんとなかりそうです。Drは修正しさらに噛みやすいよう調整してくれました。

Kさん寒中見舞いありがとうございます。「レコンキスタ」は届いています。Mさん果敢に挑戦し、ブログ開設おめでとう！ 私に日記のように送ってくださるハガキがブログで読めるのですね！（誰宛かまだ公表していないのね。私の方はブログで名前が出てもいいですが、Tさんへのいやがらせとかあるかもしれません。少しブログを続けてみながらあとで公表してもいいと思います。）まずブログを楽しんでください。「初場所の土俵も観てるだけではね」。Tさんの最新句。宮崎先生「狂句乱信」通信ありがとうございます。「石頭絞れば狂句続々と」と、春「めくるめく光を浴びて子等集う」か



ら夏秋冬「雪の果て天あり地あり未来あり」と4句「己が愚を嘆けば空し早米寿」と最後が石頭の句です。田辺聖子の本タイトル忘れましたが、一茶の生涯を句を次々と引用して良い本があります。先生もMさんも無尽蔵に湧く一茶風俳人です。Mさん『思想の混迷、混迷の時代に』送ってくださってありがとうございます。鈴木邦男さんとメイの対談も載っているものです。6人の対談集、ゆっくり読みます。また小嵐さんありがとう。新著『天のお父と、なぜに見捨てる』のタイトル。「新たなイエス像とその死の謎を壮大なスケールで描く作家が転生を賭けた渾身の巨編」と帯にあるように、これまでふれたことのあるキリシタンではなく、聖書福音書の革命。とにかく読んでみます。500ページを越える巨編です。また資料「靖国・天皇制問題情報センター通信」No126も受け取りました。いつもありがとうございます。「人民新聞」「支援連ニュース」感謝。YちゃんやS、大道寺さん利明さんの様子わかるのでたのしみです。

1月31日 早くも一月尽とは……。いつ移監になっても良いよう、1月には整理・メモ化を！と課題化しながらのんびりしてしまいました。午後コーラスでしたが、ちょうど姉の面会と重なっていいそと面会室へ。姉に歯科治療はもうほとんど義歯も完成していることなど伝えました。あれこれとちょっとした実務的なことを話しているうちにすぐ30分です。感謝ばかりです。

宮崎先生の「狂句乱信」通信昨日2枚届くはずのNo.2今日受け取りました。感謝。みんなの便りは葉です。

2月3日 朝から冬晴れ。昨日は都心で20度前後の3月から4月の陽気とのことでしたが、八王子は朝は曇りの上にスチームが入らず、かえて寒い日でした。今日は晴れてスチームも入ったので温度低くてもしのぎやすい日です。もちろんカイロは離せません。今日は節分です。昼膳に「福豆」10g入りの小さい袋が添えられました。「鬼は外！福は内！」と大声で豆を放ったのは半世紀以上前だと思いつつ食べています。今日は体調も良く、本を読んだり、午後は1月分の短歌を書きとめたり、ゆったり過ごしています。明日から“春”ですもの！

それに2009年2月3日は大阪医療刑務所で初めて大腸ガン2カ所を手術した日。その時同時に開腹中に発見された小腸ガンも1カ所摘出しましたが、その小腸ガンがリンパ節へ転移したため、2センチ弱のガンが管の外側にできていて、去年6月の開腹手術で切除できました。その手術の結果で腫瘍マーカーが09年手術以降も下がらなかったのに正常化したわけです。09年の手術から4年目です。3年目で「移転ガン」の手術に加えて、「子宮ガン」もまた発見されて手術し、「再発なしで5年目」を迎える訳にはいきませんでした。4年目の今は元気です。これからどんな再発転移が訪れるのかと考えている4年目です。

2月4日 立春。起床時は曇り空でしたが、朝食を終えた8:30過ぎから良い日和です。ベランダでウォーキングをすると汗をかくほど暖かい。春を実感する陽気です。午後は房検査。今日、九州ではもう「春一番」が吹いたとのこと。夕方お便りを受け取ってMさんの行かれた真宗東本願寺の「原子力問題に関する公開研修会」の様子を知りました。詩人の中村純さんのお話「ショックだったのは震災津波による死者が眠っている海に放射能まみれの冷却水を流していること」と言われて、そうだったな、詩人は死者のことを心配していたのを知って、死者と共に生きる命を思い返したとのことのお便りです。立春何かははじまるでしょうか。

2月5日 今日冬晴れ。9時からベランダで30分の運動。軽いランニング200歩と1300歩のウォーキング。うっすらと汗をかきます。房に戻ると布団干しのため、布団を運んで替え布団が置いてあります。ありがたい。すぐに入浴です。午後にはTV観賞「びったんこかんかん」というバラエティ。見ていると番組のせいかもしれないけど、「お笑い芸人」という人たちが多く。こういう人たちも浮き沈みで大変なんだから

うなあと、へんな方向で考えてしまいます。「痛い」笑いもあるし。

新聞では「柔道女子15人が全柔連の刷新要求」の記事。代理人弁護士が監督の暴力やパワーハラスメントのみならず、もっと構造、組織のあり方の変革を求めていることを声明で示し会見で表明しました。日本社会の縮図のような柔道などの社会関係のあり方が問われるのは断然支持です。相撲だ柔道だと個別のもののみならず、「体罰」含めて「日本のおかしさ」が告発されています。これらは原発の「人災」につながるものでもあると思います。「体罰」のないところでは、「空気」「しめつけ」「村八分」の会社から辞めさせる暴力まで。人としての尊厳、一人一人の考えの表明がどんな時でもどんなに「異端」であっても、「えらい人」と同等に表明でき、聞くことができるのが当たり前の民主主義。15人の選手たちが表明をこうした形で行い、かつ再び代理人が見ているところに問題の深さがあり、他の「業界」も同じパターンを感じます。スポーツでも歴史の違いはサッカーの佐々木監督（記事に載る一面しか知らないが）のあり方と対極のようです。

宮崎先生お題「腹痛」の「狂句乱信」受け取りました。「良し来たど張り切り過ぎて痛み腰」から始まる句の数々。笑ってしまい思わず「明大総長」の宮崎先生より学費闘争学生部長時代のニックネーム「チビッコギャング」が浮かんできます！（失礼！）。Kさんお便りありがとうございます。去年は農園はNHK「あさイチ」にも登場したのですね。コメ作りの穂の生命の誕生に感動して今年は1ヘクタールに拡大とのこと。着々と社会ともつながって、作業所の人々と連携して「障害者の就労支援」もいいですね。Yさんもお元気ですか。

2月6日 雪景色！起床の7:30にはみぞれで雪が融けそうと思ったら、朝食後に粉雪が降りだし、ずんずんと積もりました。でも午後からは雨になってしまい、雪がずいぶん消えてしまいました。

今日は午後主治医診察で体調チェックの後、鎖骨下のCVポートのフラッシュ。明日血液検査を行うと言われました。腫瘍マーカー他一般的なチェックです。今日はまた歯科治療がありました。午前の予定でしたが雪で午後になり、これまでの噛み合わせなどチェック修正していただきました。そして今日で義歯作成の治療をいったん終えるにあたって噛み方のクセをチェックし、義歯ではどのように噛むべきか（下向かず正面向いて小さく切ったものをゆっくり噛むなど）教えていただきました。「義歯は壊れます。まず壊れるのは金具が寿

命で折れたりします。プラスチックにひびが入ったり、割れたりするものと考えてください」とおっしゃって、必要時修繕や治療に来てくださるとのことです。八王子にいる間はそうできるかもしれないけれど、移監になるとどうなるのだろうかちょっと心配。でも今はきっちり噛んで食べられるようになって、指名医に直してもらって助かりました。

「キタコブシ」155号が届きました。将司さんおめでとう！12月12日で緩解のため抗ガン剤治療は打ち切りですってね。よかった！抗ガン剤2年6ヵ月22クールでしたか。ほぼ正常化した体調とは「同病者」として本当にうれしい。将司さんは「多発性骨髄腫」で、私は大腸・小腸・子宮ガンの違いはありますが、とにかくよかったです！

利明さんも快方に向かうといいですね。他雑誌資料など受け取りました。またMさん、泉水さんの国賠訴訟への原告の心のこもった被告（国、岐阜県当局）への批判文案読みました。良い文ですね。友人たちにも読んでもらいたい一文です。「人民新聞」に『革命の季節』の書評、Tさん書いてくれてます。びっくりしつつありがとうございます！本や雑誌資料たくさん受け取りました。井上靖『おろしや国酔夢譚』東拘にいた頃にも読んだことがあります。また読みたいと思っていた本ありがとうございます。

2月7日 今朝は検尿と採血です。昨日の雪は夕方にはすっかり融けています。この頃八王子でも最低温度は零下でも最高温度は10度を越える日があります。少しずつ春なのでしょう。まだ小さな実感ですが、金色に輝いていたマンサクがその証かもしれません。

デジカメ歌人、夜のピンクのサクラソウの立春の写真を送っていただきました。“格子窓広がる空追い払い登る冬の月少しはみだす”。いい一首ですね。わたしの立春の歌は“金色に燃えたつ炎（ほむら）金縷梅囚徒をみつめ逆光に立つ”。本当にきれいでした。「創」や「レコンキスタ」ネット記事コピー。ちょうど知ったシリア・レバノン情勢などありがとうございます。

2月8日 金曜日の今日は「教育的処遇日」で休業日となり、この日は運動がありません。この日は懲役労働の人たちが休日、患者たちも9時から30分1時間のラジオ放送を聞くのが同じですが（ラジオ放送は薬物使用から立ち直った話とか、罪を犯して家族が苦しんでいる話などの教訓やエピソード）、他は休日並みです。月に2回金曜日が「教育的処遇日」で発信

も不可です。でもこの日は入浴日。今日の順番は早めで9時少し前から入浴し、午前中はリラックス。午後は中東情勢の資料読み。

今日の新聞にはイスラエルによるシリア施設空爆は「レバノンに向けてミサイルを運ぼうとしていた車列が空爆されたのだ」と、元イスラエル空軍トップの正当化の発言の記事。シリア内戦はすでに兵站力の戦争となっており、サウジアラビアやカタールの無制限の武器財源の後押しを受けた反政府軍が優勢になりつつあり、イスラエルの兵站戦破壊の空爆はその攻防に一役買っています。こうした状況下ではアルカイダ武装勢力は住民を無視して無差別攻撃を深めるでしょう。反体制派の内部にも矛盾が広がるでしょう。中東では民衆運動が国家権力や宗教指導層と結びついて、反欧米・反植民地闘争を闊つてきた歴史があり、パターンがあります。今、かつての「民族主義政権」に対立する民衆運動は国家権力と結びついたイスラム運動が中東では席捲しています。北アフリカでは民衆運動がイスラム政権に対する新しい反対行動が広がりはじめていくように（エジプト、チュニジアなど）、中東地域も権力と結びついたイスラム武装闘争に対して民衆の側から新しいアラブ式の民主化が作りだされてくるでしょう。それが早い遅いかは反体制派内の矛盾の成熟に起因するでしょう。今、ベターな解決は住民のために政権と話し合う方法のようです。

Tさんお便り、切手など送ってくださったの、ありがとうございます（本や切手は来週交付）。衆議院選のきびしい結果を踏まえて前向きに参議院選へのきびしい一歩を準備されている様子。その闘いのひたむきなエネルギーが人々と結び合う様子がわかって安心。でも健康で健闘を！ガンの再発がないか検査を怠りなく。

2月9日 今日は梅の好きな母の誕生日、生きていれば95歳です。そして旧友も誕生日を迎えているはず。2月は田崎さんもパンタさんもハッピーバースデー。

2月12日 3連休明けの火曜日ですが新聞は休刊日。昨日の「建国記念日」には各地賛成反対の集会もあつたでしょうが、新聞が無いとニュースがわかりません。もっとも新聞も社会にある政治などには紙面をさかなくなっています。“シリーズ”で各地の手づくりの人々の「脱原発」の活動を1年くらい1ページ使って連載してほしいものです。暗い事件の後追いニュースばかり。そんなことで社会生活が動いているわけでもない

のに、休日中のお便りを受取り、資料などは「受取り告知」がありました。Tさん、切手や切手シートありがとうございました。またお便りの中に宮崎先生も愛用のエクスリプス（「だれその蔵書から」という意味のラテン語。「蔵書票」のこと）。アイルランド建国にまつわる「トリスタンとイズーの物語」の中の竜を退治する絵を描いた蔵書票です。ここで読書の葉とします。感謝。

今日の午後はTV「ひみつの県民ショー」を見ました。「ふーん」という話題や食べ物の話。バラエティでも私にとっては他のよりましな感じでした。今日はベランダに新しいパンジーのプランターが3つ。小さい花ですが下を向いて色とりどりに咲いています。春を待つ姿勢みたいに健気で可愛い。新聞はないけど、昼のニュースの一部が延長時間で報じているらしく12時15分過ぎにも聞けて、北朝鮮の地下核実験の疑いの人工的地震波が観測されたとのこと。「人工衛星」打ち上げを制裁されて、前総書記生誕記念と米オバマ大統領の二期目の一般教書演説のタイミングで、自国の自主権を宣言する行動に出たようです。「制裁」は緊張を高めますます国家間の軍事的対決へ至らないかと気がかりになります。今年各地の、とくにアジア・アフリカの行方が危惧的です。国内では関係のない朝鮮学校への無償化が除外され、中国や朝鮮への政策批判というより差別排除主義が正当化されていく危険があります。民衆の側の各層の交流が国家政策を逆制約するような広がりへと育つ時代を願いつつ辺境から案じています。

2月13日 目覚めて外を見たら雪景色！ 降り積もった雪はうれしいけど、雪のためベランダ体操中止で室内体操です。今日はまたノート検査もあり、午後返却されました。それに「2月20日は寄席があるので参加するか」と聞かれて参加希望出しました。

『いま子供があぶない 福島原発事故から子どもを守る「集団疎開裁判」』受け取りました。「この裁判は日本にとって、世界中の私たち全員にとって失敗が許されない試練なのです」。ノーム・チョムスキーが支持の言葉を送っています。また「磯江通信」も受け取りました。創刊から回を重ねるごとに内容が豊かになり、当時の山谷争議団などの闘争を知らない海外にいた私にもいろいろと学習しつつ理解できるものです。

午後、雪かきの成果と陽の輝きで雪はすっかり消え、遠くに金鯱がさんざんと輝いています。

2月14日 午前中主治医の診察。2月7日採血の血液検査の結果。「①CEAは4.2(5以下正常、前回3.4)、②CA19-9は13.1(37以下正常、前回10.9)、③AFPは9.2(10以下正常、前回7.5)、④PIVKAは22.0(40以下正常、前回19.0)、⑤SCCは0.8(20以下正常)、⑥CA125は6.8(35以下正常)と、大腸、小腸、肝、食道他の6つの腫瘍マーカーのすべてが正常値の範囲です」と伝えられました。同時に数字を書き留めながら全体に少しずつ上昇しており、AFP（肝ガンの腫瘍マーカー）は10以下のところ9.2と近いので、「抗ガン剤を止めたのでガン因子が活発になっていないのですか？」と聞いてみました。「正常値の範囲なら数字が上がっても問題ない」とおっしゃったのですが、また肝機能の軽い障害があるということと薬は服用しているのですが、ガンマーGTPやAST、ALTもいつもと同じく少し高め。加えて尿に白血球が多いとのこと、膀胱炎の疑いで、夜間のトイレの回数多い点など聞かれ再検査となり、再度炎症の疑いあれば1週間抗生物質を飲むようにとの指示。夜のトイレ回数多い以外自覚症状はないのですが、でも「磯江通信」などを読むと、刑務所医療の劣悪さはまったくひどいのですが、幸運にも私の場合、ガン治療で医療刑にいる分、こうした血液や尿の異常には即応してくださるのがありがたいです。医者によるのかもしれませんが、私に対処してくださる主治医、外科医には恵まれています。獄中医療全般が改善されるといいのですが。

午後には「拉致と決断」やプリントありがとうございました。またTさんの送ってくれた「ピースでピース」他「選択」「状況」「紙の爆弾」「人民新聞」「アジア新時代と日本」なども届きました。週末に向けて読書の本がたくさん。ありがとうございます！

2月15日 曇りの空は午後から雨。気温は6〜1℃。寒い朝。看護師から今日から1週間の抗生物質を服用するようにとのこと。2度目の検査でも白血球が出ているためです。

今日は小嵐九八郎著『天のお父と、なぜに見捨てられる』を読み終えるところです。この物語はイエスの布教と殉教の生涯と、それをとりまくナザレ派のイエスの仲間の様子を、当時の等身大の姿として、小嵐言語でよみがえらせた小説です。ユダではなくパリサイ派の密偵としてシモンを「裏切り者の告白」として狂言回しとして、また当時のガリラヤ地方の“田舎っぺ”のナザレ派の面々は、日本語方言で語り合うという異

色のもの。「神の子」を身ごもったのではなく「不義の子」。大工あがりの無私のマザーコンプレックスのやさしいイエス。だから弱い人々の心に届く力があつたんですね。最期のイエスの叫びも「天のお父と、わたしの神、どげんしてわたしをお見捨てに……なるっち、お見捨てに」と、いわば怨嗟の叫び。「奉られたイエス」ではなく、異端の「貧乏人」や「はぐれもの」たちの依り拠としてのイエス。マグダラのマリアの語る最期のイエスは、逡巡や怯えを越えて普遍へとよみがえる様子を濃い色彩で記しています。ナザレ派のインテリのユダは、イエスが逮捕抹殺されることを予見し、心の中で「死後のナザレ派の団結には、裏切り者の必要」を密かに考えています。（本当の裏切り者シモンは誰にも覚られていません。）ユダは「裏切り者」がいてこそ、「裏切り者」が試され必死になって強くなり命をかけても信仰を守り、ナザレ派は深さを増して膨れていく……と確信していました。イエスが殺された後、ナザレ派の中で、誰がイエスを売ったのか言い合いは沸騰し、ユダは疑われ殺されていく間も抗弁せずに殺され、その結果ナザレ派は結束落着きます。イエスがナザレ派の人々ばかりか、この大地のすべての人々の罪深さを担い死に至ったこと、最後に「イエスさんを殺した真犯人は神です」と一人の老人に言わしめています。キリスト教の教えを逆さに地を這う人々の右往左往の中で、イエスの無私の愛を描き、定説に反してユダがその後の道を切り開いた人と読めます。こういう投影の小説もありか」と驚きつつ。でも東京生まれの私には方言は読みにくい。標準語であつたら……と。でもこの方言や比喩やリズムに、小嵐言葉があふれていていいのかもしれません。読み終えたあと“もろびとの罪を背負いしキリストを神は殺めしゴルゴダの丘”と零れました。ここがアクセントと私に思えたためでしょう。著者の個人史の重なる格言風の比喩やたとえ方が真骨頂。おもしろい小説です。

また今日は宮崎先生のお便りに考えさせられたりして、10年後20年後の悩み心を借越にも重ねてしまいました。「社会に役立つ人であることについて……」。今年88歳になられる先生は今もひっぱりだこの社会貢献をなさっています。（明大総長のあと「地域対策協議会」の会長や人権啓発センターの理事長。今でも大学や教育財団の理事や顧問、会社の鑑査役に弁護士活動の他、学生野球連盟の審査室長や南北朝鮮と日本の3者構成の「朝鮮奨学会」の理事運営を武者小路公秀さんと担っておられます。）それでも「自分が社会にもう役立たない人間になったのでは……」と、時として

うつ気分になられるとのこと！「人間はやはり自分が社会の役に立っているということに生き甲斐を感じるものなのではないか」との文に、そのような矜持を持って若々しく活躍されておられる先生こそ、素晴らしいじゃないですか。私も「社会貢献」の思いで変革をめざし、まだ尽くしたいのに、自分が役立たずの人間になったのでは……と思うことも何度あります。でも、邪魔にならぬように自分の環境でやれることをしようと思いつめています。高い志と意識をもって生きておられることに教えられます。そんなふうに私もありたいと思います。

2月17日 2月4日の立春よりも10日の春節頃から寒さが厳しくなっている八王子。昨日は5℃〜4℃。寒い！でもここでの過ごし方にも慣れて、下着をたくさん着込んで、靴下も24時間履いたまま。カイロを有効に使ってと、ここに移監して来た年のしもやけだらけとは大違いです。今日も窓の外は太陽さんで寒い房です。

今日の朝日新聞に『革命の季節』の書評が『オウム事件17年目の告白』と並べて保阪正康さんの文として載っていました。「(リッダ闘争について)表面上は謝罪するとの言もあるが、『パレスチナの受難の歴史と70年代という時代の中でその問題を捉えたい』というのは、はたして説得力を持ちうるのか」との言。「日本の歴史の中、日本の側から捉えるとむずかしいことは、自覚しています」と思わず独り言が零れました。

また隕石はすごい。昔の人々なら落下をどんなふうに見えたのだろうと想像するだけで、神話やロマンが心に広がります。

Tさん子どもたちや夫人からバレンタイン・チョコレートもらったのね。手づくりラッピングの写真に一句。“バレンタインぼくもドラマの主人公”。

2月19日 小雨が朝食後からみぞれになり運動は中止。TVの日で9時半頃和室でドラマ「相棒」を見ました。見ているうちに窓の外にはばたん雪が舞い、積もりはじめました。午後はコーラス。先生の教え方、話が楽しいので、1ヵ月1回のコーラスをみな楽しみにしています。声の出ない私も大声でソプラノで歌うのを楽しんでいます。今日は81歳の先生のドラマチックな独唱「からまつ雨」が圧巻。若いソプラノ歌手のような高音と年を経た深みに聞き惚れるほど。その後「心の窓に灯を」。昔歌声喫茶ではやっていた歌。知っている人は年輩ばかり。歌唱指導受けつつ歌い、

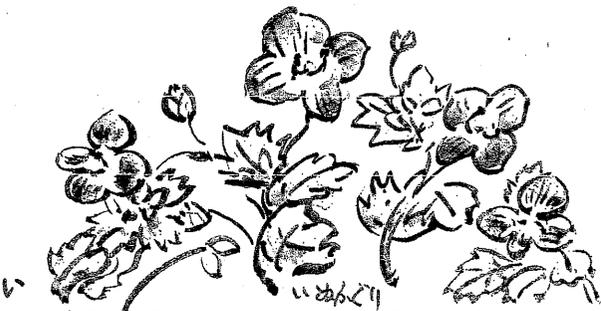
最後は「花は咲く」。いつもあつという間のコーラス時間終了。房に戻ってハミングしながら小声でつぶやきました。

Kさん、庭の白の侘助、いっぱい奮をつけて開いた白もきれい！ ありがとう。「今年は思わぬ縁が縁を呼び、これからまだまだ楽しんで生きていけそうです」と前向きな笑顔が浮かんでいます。そうでなくちゃ！ ね。今その真っ最中。でも元気×2というくらい元気です。宮崎先生、お題は「雪」から二句。「山茶花の紅豊かにてこぼれそう」「ほの白き窓を開ければ雪みぞれ」。姉からはもうひな祭りの絵入りのハガキ。そう、もうすぐでした。

2月20日 今日は太陽がいっぱい！ 久しぶりの運動場です。トラックはぬかるんでいて、アレーナと私の呼ぶ真ん中で運動です。マンサクもまだきれい！ 午後は「新春演芸会」古今亭菊千代さん他2名の落語と三増紋之助師匠の独楽回しですが、落語も大笑いでしたが、独楽回しがすごい技術のあれこれで大笑いの一時。女区からも多数参加で楽しみました。

戻って主治医の診察。軽度の膀胱炎、抗生物質で早めに対処してくださったので、昨日の尿検査は異常なし。「おしっこを我慢したりすると免疫の働きをする成分が減るので菌が入りこみやすい」とのこと。気をつけなければ。

2月21日 今日も寒い！ 6℃～3℃の八王子です。今日で抗生物質服用は終了です。今、日本海側は激しい雪と異常な積雪が続いているようです。こちらは寒くても太陽さんさん、マンサクがまだ満開に輝いています。「はなかみ通信」ありがとう！ テーマは「家」、いろいろな角度からの文章を興味深く読んでいます。『「改定」暴対法』もありがとう。警察の権利など暴対法の歴史的流れを学習しつつ読んでいます。「救援」「アソシエーション」なども受け取っています。



またYさん2月2日の土曜会報告25ページ！ もありがとう。今回は『民主党政権への伏流』（新潮社）の著者、前田和男さんの講演中心の集い。みな、自民党化した民主党には批判や苦言も多いのは当然ですね。自民党化を率先した人たちがほとんど落選しなかった民主党は期待したくても展望が厳しいですよ。また中澤さんが去年亡くなられたとの報告。知りませんでした。お悔やみ申し上げます。さらに「再稼働阻止全国ネット」の合宿や去年の脱原発行動報告や3月の行動計画の話合いも活発な様子がドキュメントタッチで知ることができます。Oさんも土曜会に参加したのですね。私のこと話されているのですが、私の記憶とはちょっと違うなあ……。入学前の大学院前の座り込み、Oさんもいたのですって、私は2部のUさんIさんと、あと何人かと思っていました。そのあと明大記念館地下の2部政経学部自治会室の汚い謔写インクの臭う部屋に行ったのだと思います。Oさんと会ったのは、2年生の学費闘争前の頃では？（Uクンに会ったのは1年生後半か……）「2部とちがう社会学」とか初めて教えてくれたのがOさんでした。社会学同オログしたのもOさんでした。その時は入らなかつたけど（67年2・2協定の後に加盟）。

Yさんの大変な労力努力で、こんなふうに臨場感もって参加気分でも読めて幸せです。ブログ記事もありがとう！ メイの記事は読んだり聞いたりできないのでありがたいです。

Sちゃんありがとう。そちらこそ健康でいてください。

2月22日 今日は朝食後すぐの一番風呂。めずらしい。いつも運動参加者が運動している間に運動参加できない人、しない人が先に入浴するからです。今日は「教育的処遇日」で運動なしの日だったためでしょう。

Iさんお便り、梅も咲きはじめたとのこと。大坂城の周りの梅を見に行ったのを思い出しています。今咲いているでしょう。本も送ってくださってありがとうございます。句もいいですね。「ヒーターを止めてと水仙そっぽ向く」の表現が好きです。今日いただいた手紙4通にそれぞれ偶然句が詠まれていました。デジカメ歌人は雨水の三首のうちから一首、「山法師おごる縁に拮抗し花を雲に偽装する」。Tさんは「連れ立てる親子待つべし梅の花」。宮崎先生はお題「親と子」に続いて「時」の八句から一つ、「置時計残れる今日を刻みゆく」。それを読んで私も一首、「水仙の句梅の句雨水の歌四様の春今日届きたり」です。

今日の新聞に21日3人に対する死刑執行の記事。2010年の政府発表の世論調査では、死刑容認85・6%とのこと。でも世界のまたは国連決議の死刑廃止を求める啓蒙を日本社会が何ら行っていない、怠った結果を示している数字です。「死刑廃止という世界潮流に背を向けている」とアムネスティは批判しています。こうした世界の常識に逆らって、安倍政権が次々と死刑執行を続ける危険があります。安倍首相・アメリカで日米同盟関係強化をうたい、円安で輸出産業を喜ばせ、ムード的に「自民党人気」を意識しながら、参議院選で「ねじれ」を解消し、「改憲」と弱者切り捨て管理支配がますます強まる危険があります。死刑もその流れに乗って行く危険が次々と増していきそう……。

2月25日 週末も最高は今日くらいの6℃、最低は今日は-6℃です。大寒の気温が続きます。Oさんのもっと字をていねいに大きくとの苦言に、少し大きめに書きなおしています。1ページ分が字を大きくすると2ページ近くになってしまいました。今日は姉から指名医の歯科治療費を支払ったとの便りが届きました。友人たちのカンパその他で支払うことができました。感謝です。でも「これは義歯に力がかかるように設計してあるので、壊れるので、また作り直すことになる」とのこと。ウーン。訴訟や他の方法で指名医制度の治療費にも保険が適用されるように改善をめざしたいです。「国民皆保険」の制度にも精神にも反し、獄中者差別ですから。10割負担はひどすぎです。

Iさんおいしそうな本届きました。あの石牟礼道子さんの食べものの本！ 楽しみです。

2月26日 今日は7～4℃とのこと。体感温度はもっと低い。日なたでも1～2℃くらい。ベランダはコンクリートの上にモケットを敷いてあるのですが、凍ってガサガサと歩くと音を立てているし、プランターのパンジーの土は5センチ程の霜柱が立ったままです。

今日は弁護士からの「手紙コピー」（送り状付きで「Kさんより坂口さんの歌集の件」とタイトルのある手紙コピー）が、法128条により禁止と告知されてしまいました。本来、禁止措置には、誰からの手紙かは告知されませんが、先に送り状が届いていたのでわかりました。「128条 犯罪性のある人からの手紙の仲介にあたるので禁止です。仲介者ではなく、その先の人

止か否か決まるが、128条は人物」とのこと。「それでは“仲介”にならないように“坂口さん”とか手紙に書かず、再度私に何か依頼とか仲介者といわれた人が書いたらOKですか？」と尋ねました。仲介者は128条に抵触しているわけではないので、「とにかく内容を検査した上でないと何とも申し上げられない」とのこと。とにかくKさんのお便りは「釈放時交付」のファイルに入ってしまいました。

2月27日 久しぶりのグラウンド運動。寒いけどピリピリ肌に気持が良い。塀の外の梅、今年はまったく咲いていません。これからです。午後、体調の悪い姉が、道中休み休み来たと面会に来てくれました。無理してくれてありがとう。『「革命の季節」は増刷ですって』と伝えてくれました。

2月28日 今日は暖か！ 寒さを昨日と同じと思いつつベランダ運動に出ると、空気が刺すように冷たくなくて穏やかです。プランターのパンジーがいっせいにうつむくのをやめて伸びた茎に咲いています。もう春近々！ この2月末は日本を42年前に発った日。いつも反省を込めていろいろ思い返す日です。

Yさん、お便りありがとう。久しぶりに元気そうな様子わかります。3月10日、編集室も3・11二周年参加で、「オリーブの樹」116号は3月17日発行ですね。わかりました。3・10集会・デモに連帯！ M子さん、ご多忙中、毎月資料やそちらの様子送ってくださいありがとうございます！ 家の庭のラベンダの隣の木にメジロが来るのですね。「ハンター猫のルリちゃんが小さいくせに小鳥をすばやくつかまえ」（ここ数日で5羽とは！）、かわいいけどチビンケ・ルリは困ったもんです。それに、ワンコのボブリーが膀胱に穴をあける手術と、犬と猫の大所帯や看病。加えて家は耐震工事中とてんてこ舞いそう……。でも仕事も脱原発の集いもスイスイと参じて活発ですね。『「アラブの春」の正体』わかりやすくして知らなかったことも知れてよかったとのこと。本も読み、太陽光発電1ヵ月、天気うれしい小さな発電所を楽しんでいるのがわかります。Mさんは3・2の土曜コーラス・デモ！ 初ですね！ “三線の音が時刻む春の宵、いいですね。宮崎先生、『三屋清左衛門残日録』（藤沢周平）楽しく読んでおられるとのこと。「茶柱が立って嬉しい大安日」、嬉しい句です。

3月1日 もう弥生三月。少し曇りつつ晴れ。今日は

## オリーブの樹 第16号

春一番が吹きました。南側の枝垂れ桜の枝が風になぶられて、ギンギンいいながら揺れ動いています。メイ、みどりハッピーバースディ！今日は房内検査日。差し入れカイロ受け取りました。「フォーリンアフェアーズ」や田中宇、たんぼぼ舎のニュース記録などありがとうございます。

竜子さんのすごくかわいい絵届きました。このまま「オリーブの樹」載せたい！（おしくらまんじゅう）いつもすごい表紙の絵描いてくださっているのに、「満足のいくものが描けなくて申し訳ない」なんてとんでもないです。いつも多忙のところ無理して描いてもらって、こちらこそ感謝！こんなふうに竜子さんが好きに描くものを「オリーブの樹」のカットに入りたいです。1歳4歳の男の子の孫、楽しいけど疲れてますね！でもNさんの分までね！男の子たちは20年後には今の暖かいぬもりをしっかり人生の基にしているでしょう。もう梅が一輪咲き、紅い蕾いっぱいとのこと。ワクワクしますね。絵を見ていたら小学校時代が浮かび、一首できました。（歌と挿絵3頁参照）

3月3日 わけもなくうれしい気持ちのこみ上げる弥生。3月1日からひな祭りの頃は、子供時代躍り出したような浮き浮きした気分だったせいか、今でもそんな気分。近所の小川の土手にはイヌフグリやなずなやこべが緑の土手をつくり、畦道には梅の木、みんな咲きだす世田谷時代の春の始まり。スキップして土手に行ったらは緑の土手ですべり台をくり返し泥んこのパンツを叱られたのもこんな春。桃の節句の今日、菜の花と桃の花を添えた陶器の顔立ちの美しかった女びな男びなは、姉のところまで飾られているでしょう。戦後の物のない時代1946年、私の初節句に母が着物を売って三軒茶屋で買って来たものです。三軒茶屋も鬧市の中心の一つでしたが今はモダンな街ですね。八王子の春、風は冷たいけど陽が優しくです。

3月4日 冬みたいに寒い一日です。新聞では北海道中標津で暴風雪で死者が出ています。3・11が近くと自然の猛威が厳しく思い返されます。昨日も茨城で地震。こんな火山地帯脈の地震大国に原発が設けられたこと自体が問われるべきなのに（アメリカなら許可されないでしょう。それを日本に持ち込んだのもアメリカ）。安倍政権と大企業は原発輸出・再稼働へと進もうとしているなんて。Mさん春へ！の便りありがとうございます。Mさん、3・2デモの準備の便り、どうだったでしょう。宮崎先生お題は「税申告」。「源泉の徴収票で

春を知り”。みんな3月は気がみなぎっておられる便りが多いです。私も！と、何となくはりきっています。Oさん、クラケン祝バースディ！今日はこれから雪が降る予報とか。春の雪もいいさ。

3月6日 昨日から春めいています。昨日は啓蟄でしたから春はもう本格的な頃です。そんな陽の中、10時半から30分のグラウンドでの運動。塀の外の高台の家の庭の紅梅がみごとに咲いているのが見えます。足下では枯芝の下から緑の芝が萌えだしています。まだ霜で少しだけぬかるんでいるトラックを一周。よく見ると桜の木の下に固いつぼみが無数についています。汗をかいてウォーキングしたり話したり気持ちいい一時です。昨日はテレビで初めて「科捜研の女」のドラマでしたが、「つづく」と終わったので「よかったね、バラエティよりいい！」「でもつづくじゃあ……。次やってくれるのかな」などと話しています。

汗をかいて戻るとそのまま診察に呼ばれて診察室へ。今日は鎖骨下のCVポートのフラッシュの日。体調を聞かれて調子はよいこと、「肩関節炎はずいぶん良くやっているけど、前横に手をのぼせるけど後ろがまだです。後ろで留めたりする下着などはまだムリです。でも他は快調」と伝えました。「支援連ニュース」他資料や宮崎先生、Mさん等お便り感謝。

3月7日 今日はもうカーディガンも脱いでペランダの運動です。近頃10℃以上の日で、厚手の下着も下半身だけにしています。でもカイロはまだ離せませんが。

運動から戻って引っ越しになりました。今回も南向きなので、桜が運動場に咲いたら見ることができそう。

今日の新聞でシリアの難民は国連の機関（UNHCR）が把握しているだけで百万を越えたとのこと。ことに今年1月から2月だけで40万人が新たに難民化したということです。レバノンにも人口の約1割に相当する33万人が避難していると記事に書かれています。もっと多いでしょう。10年20年先を描いてみると、世界の経済のグローバル化のしわ寄せと相まって、宗教・宗派勢力と世俗主義的リベラルな価値観をめぐって、混迷はこれからも続きそうです。アメリカや欧州の政権がもっとも反民主的なサウジアラビアを支え、占領支配を続けているイスラエルの肩をもっている限り公正な平和も民主もないでしょう。友人たちを思いつつ胸痛い。

また今日の記事に、チャベス・ベネズエラ大統領の

病死が伝えられています。民衆に人気のあったリーガーの死に、「親米勢力まき返しの観測」とのこと。北朝鮮核実験と制裁をめぐるアジアの緊張とまたちがったラテン・アメリカの左派政権に対する攻撃が激しくなりそうです。そこではグローバル経済の格差も作用しそうです。「創」「紙の爆弾」資料届きました。青砥幹夫さんの連合赤軍に関する対談がとても真摯でいい内容です。Uさんお便りありがとうございます。春に元気を取り戻し、地域での良さを活かしてお元気で。

3月8日 昨日の転房で初の朝。前の房より窓の幅が少し狭くまた高い位置にある分、外が遠く感じてしまうのにびっくりです。遠くの陽が暖かそう。今日は「女性の日」。70年代80年代90年代と、共にこの日を過ごしているんな仲間・友人たちを考えつつ連帯。闘いつづけている女性たちに。Mさん高校生の対話の句がいいですね。「女高生車中にありて春の色」。冴えますね。また宮崎先生の今日のお題「春」もいいですよ。「風花の舞い降る庭に福寿草」、「雛祭り男雛が少し伏目勝ち」。先生の大好きな蛙の自作の版画もステキです。蛙の季節ですね。

3月11日 3・11獄の窓辺で黙祷す

週末は関東では夏日のところもある暖かさでした。今日は陽が差して風も冷たい。3・11二周年、黙祷の合図に2時46分、窓辺に走り、庭の方に身を向けて黙祷。新聞では大震災・フクシマ少しでも良くなった、笑顔が戻ったという風潮の記事ですが、精神的・財政的苦悶の連続のままの人が大多数でしょう。「脱原発」「暮らし方を変えよう」という志を持続する難しさを感じます。貧しい人々ほど。政権はどんどんそういう人々を切り捨てていく政策ばかり……。新しい変革の始まりの日を祈ります。

今日は義姉と姉の面会。3月15日の母の命日の話などすぐに30分です。お互いの元気に安心して、またね！と別れました。

「泉水国賠通信」5号届きました。不屈の泉水さんのしっかりした直筆。「泣き寝入りはごめんです。小生、不屈に闘ってまいります」の元旦の声に連帯します。いつも共に！

それにお便りいろいろ届きました。感謝。Kさん、紅梅の八重のきれいな写真ありがとうございます。3・11を経ると、何かめくられて、視界に春と希望がずっと広がる気がしています。「根拠のない希望」？でも、それは楽観で世界の遠くをみるメガネです！

3月13日 今日は朝、ノート検査で提出。いつも検印が押されて午後返却されます（毎月1回）。今日の運動はグラウンド。見回すと、塀の外に白梅が1週間前には咲いていなかったのにみごとに満開です。運動場、春はますます気持ちいい。今日は風が強く、向かい風にはばまれたり押されながらトラックを2周。もう少ししたら緑の草が広がってタンポポも咲くはず。パレスチナの春は、「土地の日」世界の友が連帯する3・30ももうすぐです。「パレスチナに連帯の心を伝えます！」。風と走りながらパレスチナの友に呼びかけます。

午後は診察。体調を聞かれ、快調ですと伝えました。また今後ここから移る前には、鎖骨下に埋め込んだCVポートを管理しうる条件がないだろうから、ここにいる間に取り出す必要があることなど話してくれました。「再発の可能性は高いが、今の重信さんのガンは治療ということになり、一般社会では「スクリーニング」（ガン検診の潜血反応。陽性なら内視鏡検査でガンを調べる）から、ガン既往症の人には「サベイランス」（すでに大腸、小腸ガンを患っていたら、1、2年に1回の内視鏡検査、腫瘍マーカーチェックなど、より厳密な追跡）が行われる。しかし、他の刑事施設に移った場合は、その施設の決まりに沿って行われる」とのことです。他の刑務所は劣悪な医療環境と知っている分、一般社会の水準で、つまり「サベイランス」してくれるかは望めないだろうと思わざるをえません。

移監後は、厳しいな……と考えるつ戻ったら、励ましのお便りに気分も一新です。竜子さんなんてきれいな絵！紅梅にいぬぶぐり！このまま載せたい！「春になって、水仙や桜草、梅の花で夫の写真の前は庭の花だけでいっぱい！」Nさんの笑みが浮かびます。デジカメ歌人啓蟄の歌より一首、「病葉の匂い放り沼底の冬の蛙の息浮かび来て」。Mさん脱原発「さよなら原発3・10関西2万人行動」のハガキや写真など春の闘いをありがとう！“うららかや署名の字までみならら”。春連帯 連帯！日本で、アラブで、パレスチナで、前向きな力が湧いていますね！3・30土地の日連帯メッセージ伝えます。

\*\*\*\*\*

重信さんは2010年8月16日の刑確定後は通信回数枚数が制限され、（月5通、1通便箋7枚）、おもに親族と弁護士宛に通信されています。この「独居より」はその通信の「日誌」部分を編集室が抄出したものです。

## 出来る事を細かく続けよう！

米澤 鐵志

私は小学校5年のとき、広島島の爆心750mの場所で原爆に被爆し、一緒にいた母や多くの身内を失った。中学、高校の頃から反戦平和運動を始め65年を超える。特にその間原水禁運動に関わり、その中で原発の問題を重く受け止め、「原潜」「むつ」「もんじゅ」などを取り組み、チェルノブイリ事故以降は毎年4月には「チェルノブイリを繰り返すな」の京都集会に協賛し確か15周年の集会には、講師の神田香織さんと私の被爆体験談を同時講演した。またこの60年近く被爆体験を語り、直近の10年では毎年20回以上の体験談を学校、教会、お寺、運動団体などで行い、小学生などは千人近い子供たちが、「二度と戦争は繰り返さない、「核」をなくしたい」という感想をくれ、未来に希望を託していた。しかし個々の運動は取り組まれたが、大きな反原発のうねりを作ることなく福島の大事故に至ったことはなんといっても慚愧に耐えない。

もう一つ私は「反戦老人クラブ・京都」に属しているが、当時安倍政権が出来、教育基本法が変えられ、改憲が具体的にかたられ、何かしなければと「反戦老人クラブ」が誕生した同じような意図で60年、70年を戦った旧世代の呼びかけで「反戦・反貧困・反差別共同行動・IN京都」を立ち上げ7年にわたり毎年集会・デモを続けてきたが、民主党政権を産みながらまたぞろ最悪の安倍政権に舞戻った。特に今度の総選挙の自公の圧勝と全くでたらめな維新が近畿を中心に躍進し我々にとっては最悪の状況になったと言え、多くの人に挫折感を与えている。

これは民主党政権の普天間基地の県外移設や、年金福祉のでたらめさを暴露し、天下り禁止や、後期高齢

者医療制度の廃止、無駄な公共事業の廃止「八ツ場ダム」等いわゆる「コンクリートから生活へ」と民衆に支持されるまともな政策を打ち出しながら、彼らの主流である「松下政経塾」の出身者という運動と無縁な立場での政権であったため、官僚や大企業のいいままになり、優れた政策が画餅に帰し「夢の政権交代」も誰がやっても同じだという政政治不信がもたらしたことは明らかであり、「原発」「おきなわ」を戦った人々には大きなショックであったろうと思われる。しかし一方、首相官邸前行動、各地の金曜行動や、「11行動」に見られるように多くの人たちは組織に関係なく、個人の意思で友人たちにも呼びかけ、行動を続けている。

京都でも昨年4月18日から5月5日全原発が止まるまでの、「使い捨て時代を考える会」の植田たかし氏の原発即時廃炉のハンストに続き11日毎週金曜日の関電京都駅前支店での「再稼働反対、全原発の廃炉」の「キンカンスタンディング」行動は、東京の首相官邸前の抗議行動同様絶えることなく続いている。この中から多くの人々が原発再稼働に反対し、福井県庁や大飯町に述べ数百人の人々が参加し、貴重な経験をした。正月明けからは寒さも手伝い常時いる人数は減っているように見えるが、短時間参加に切り替えた人も含めると参加者自体は決して減っていないどころか、次々に新しい参加者が続いている。この行動の中で、「告訴、告発運動」「瓦礫問題」「反弾圧」「活断層、地震」「神縄連帯」「ハシズム反対」と新しい課題がいろいろ提起され賛同や議論が活発になり参加者の多くに替え歌を入れたり、参加形も提灯、簡易ライト、音の出るもの、多彩な衣装・プラカード等創意工夫がなされ、次週もまた会おう、と継続の意思を伝えあっている。

信じがたいことであるが、安倍の支持率は上がり、新右翼がネット上で、歴史を知らずに、過去の日本を賛美する全くでたらめな行動が横行しているが、これはこれまでの運動の弱さが生み出したとも考えられ、今起こっている新しい質の運動を継続していけば、また政治に失望した人や、どうにでもなれと言った人々が、新自由主義の元、命の危険にさらされる事態にきつと気づき、立ち上がらざるを得なくなるだろう。

私が思い浮かべるのは「大飯原発再稼働」をめぐる

6月31日から7月1日までの非暴力不服従の「再稼働反対」の40時間近い座り込み抗議行動であった。これには琵琶湖を抱える近畿圏や関東からの避難者（主として子供連れの主婦）などが原発直近の場所に「監視テント」を造りメール・ツイッターなどで多くの若者が参加しており、東京の「タンポが舎」もはるか東京から「テント」を造り常駐していた。31日の「再稼働阻止」の全国集会に地元で600人以上の参加者が集まり経産副大臣のいる場所に雨中ずぶぬれになりながら抗議行動を行い、その際にテント村を中心にネットで集まった200人余が大飯原発入口のトンネル前をバリケード封鎖し、あすの副大臣の再稼働スイッチ押しに抗議し、素早くトンネル防衛に到達した機動隊に抗議の行動を開始し2日未明まで機動隊のごぼう抜きに耐え、ついに副大臣が海をわたって裏口からそこそと原発に到達、スイッチを押したことが確認され、機動隊が立ち去ることで、今後の戦いの継続を約して解散したが、この行動で印象に残ったのは原発に通じる山道に北は北海道から南は鹿児島

までの自家用車が延々と並んだこと、参加者の中には女性が多く、中でも子供連れのお母さんが多く降り続く雨に子供にビニールをかけ参加し続けた、その間太鼓とかドラムの音は「再稼働反対」のリズムに合わせこれも40時間つづけられた。私は今の若者の行動力と粘りに大きく感動した。アベノミクスと言うウタカタは早晚破滅するに違いない。私たちは希望を失っている人たちにこの行動を粘り強く続け、房子さんを戦列に迎えるまでにはこの運動に前途が開けるよう努力したい。

京都での運動の特徴に忘れてはならないものがある。それはもう7年余も前から辺野古新基地反対、高江ヘリパット反対で、若者や大学生などが中心になり毎週土曜日の夕方、三条河原町の交差点前でビラ配りアピールと署名活動が続いていることである。ここからは多くの若者たちが、辺野古や高江の現地に参加し、ウチナンノ苦衷を共にし、そこを離れても別の場所で障害者運動や女性運動に参加し、運動を拡散している。  
(原子爆弾被爆体験証言者)

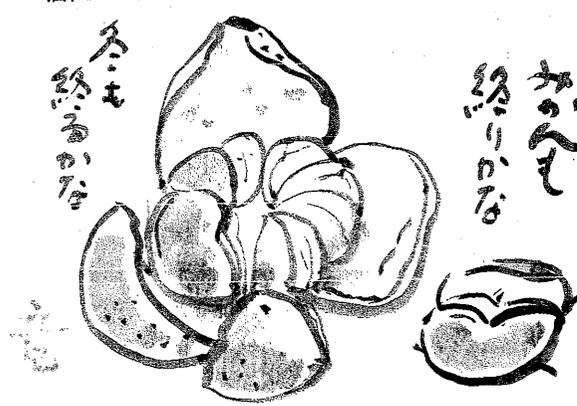
## 日々雑感

萩尾 遠

また3月11日がめぐってきた。東日本大震災・福島原発事故から2年。だが、福島第一原発は今も大量の放射能を出し続け、収束のメドすら立っていない。3月6日にNHKが単独取材したが、「取材から見えてきたことは、この2年間は、40年という果てしない間続く、放射線との戦いの、まだ入口に過ぎないという厳しい現実でした」とある。構内に散乱するガレキ・ひっくりかえったままの車など、4号機プール等多少補強されたとはいえ、収束とは程遠い現実が生々しく伝わってくる。構内には汚染水のタンクが増えつづけ今は25万トンの容量だが、75万トンまで増やすという。地下水の流入が続いているからというのだが、それは地下水が汚染されているということではないか？メルトダウンした核燃料が压力容器を突き破ってコンクリートの上に落ちていると推測されているが、とてつもない高温でコンクリートをも突き破って地中にめり込んで行っているのではないかと推測も一部ではある。もしそうだとすれば、地下水が汚染され、海や川を高濃度に汚染する。人が近づけば即死するほどの高濃度の核燃料を取り出す技術など開発されてはいない。小出さんが言うように、地下に防御のコンクリートや鉛の要塞のようなものを作っ

て閉じ込めるしかないのではないか。早くから提言されているのに、東電も政府も腰を上げようとはしない。汚染水についてもタンカーに移したらどうかという提言も一顧だにされていない。福島周辺では数え切れないほどの地震がその後も続いている。カバーをかぶせただけの4号機プールにしても、大きな地震に果たして耐えられるのか？この国は第2のフクシマでもおきないと目がさめないのだろうか？

先日、ネットで「世界最悪の原発事故を起こした自民党の総理大臣 安倍晋三」という記事を見つけた。共産党の吉井英勝議員は、2006年4月に福島第一原発を視察し、12月13日には、国会で当時の総理大臣である安倍晋三に対して、福島第一原発の安全性に関して疑義を呈し、質問主意書を提出している。これに対する安倍の答弁は、官僚の作文を棒読みしただけの、木で鼻をくくったような答弁で、安全性に問題ない、地震・津波がきて対安全、対策など必要ないと断言して対策をとることを拒否した。この時に対策を講じていれば、原発事故は防げたかも知れないのである。しかし、何の反省もなく、責任も感じていない。福島原発事故の直接の責任が安倍にはある。イタリアなら、とうに逮捕されていただろう。安倍は反省ど



るか、どころか、

「安全を確認した原発は再稼働させる」と言って電力業界を喜ばせ、審議会からも脱原発派を追い出し、推進派の原子力村で固めている。「美しい日本」、「日本を取り戻す」と安倍は言ったが、福島も土地も生活も壊してしまっただけが「美しい日本」だ。「日本を取り戻す」ではなく、「日本をぶっ壊す」ではないか。安倍の政治的(刑事的)な責任を追求すべきではないか。

先日報道された記事で、自民党の全国会議が開かれ、原発再稼働を求める声で盛り上がったというが、福島県議会議員が、こんな席には同席できないと憤然として席を立った、という。その後でも再稼働・再稼働の声が続いたというが、元々が熱心な原発推進派だったという県議会議員は、高線量の3号機の前に立っても再稼働を言えるか、と怒りを露わにしたという。原発マネーに目がくらんだ自民党議員には福島の痛みなど目に入らないのだろう。

今年も3・9、10、11は全国で反原発・脱原発の行動が盛り上がった。東京では、3・9には、明治公園で1万5000人、10日は日比谷公園と官邸デモに4万人が参加。脱原発の1,000万人署名は、3月4日で820万人余に達しているという。関西では、3・9京都パイパイ原発集会(円山公園)に3,5

00人、3・10大阪中之島周辺には折からの暴風雨にもかかわらず1万人が集まった。各地域での集会も広がっている。全国的にはおそらく10万人を超える人が行動したと思う。赤ちゃんや子ども連れ夫婦なども多かった。反原発・脱原発の運動は決して下火になってはいない。人々の脱原発の思いは着実に定着し、広がっている。世論調査でも、70%以上が脱原発を望んでいる。原発推進は、原発関連企業など以外はほとんどといていいほど支持されていないのが現実だろう。この前の衆議院選挙では、この思いは実現されず、一見、原発推進勢力が勝利したかのような結果に終わったが、自民党の得票率は有権者の1/4以下だった。選挙制度と野党の体たらくが、自民党を勝たせただけだということは、自民党・安倍もよく分かっている。だから参院選挙までは、鏡の下をのぞかせずに口当たりのいいことだけで安全運転しようということだろう。

今の選挙制度では、与党があつという間に転落するという構図がしょっちゅう起こる。アベノミクスで、円高・株高と財界は浮かっているが、日本経済の足腰は弱ったまま、対中国輸出の急減、米「財政の崖」など、国際的な景気失速・金融バブル崩壊の危機は目の前にある。いつ崩壊が起きてても不思議ではない。

## 後書

住んでいる集合住宅の棟の南側と北側に梅の木がある。今年は寒かったので開花が遅かった。南側の花は先日の強風で吹き飛ばされてほとんど散った。北側の花はまだ5分咲きである。16日は関東は無風晴天で、ベランダに置いている雨水受けのプラスチックの桶にヒヨドリが2羽、交互に水浴びをして、梅の枝でパタパタと水弾きをしていた。よく来ていたメジロは花がないのもう来ない。そんな窓の外を見ながら「独居より」の最終作業をしていると、ついつい原発や安倍の文字で手が止まってしまう。

声を張り上げ・武張り屋の安倍君は、先輩や自分たちでつくった核廃棄物の処理もできないのに原発の再稼働・新設も容認という。さんざん票で利用した農民を切り捨て輸出産業・大企業に乗り換えTPPに参加するそうだ。「環太平洋パートナーシップ協定」といえば耳にいいが、Trans-Pacific Strategic Economic Partnership Agreementは丸々訳すと「太平洋戦略的経済連携協定」。アメリカの世界軍事戦略と軌を一にした経済戦略の匂いがする。日本のTPP参加をアメリカの大農場主が喜んでいて、アメリカはもう30年も原発建設を中止しているそうだが、日本はアメリカの実験国ではないかと思ってしまう。尖閣で近隣国を煽り「改憲」に持ち込みたいが、安倍君、「強い日本」などと云って国民を戦争に巻き込むな。

核で地球を汚染し、地球上生命体を危機にさらし、なにが「美しい日本」「強い日本」だ。「美しい」「強い」とは、こぶしを振り上げたりせず、他者に優しく、生命を大事にすることだ。 Q

連絡先 〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル5階

救援連絡センター気付 「重信房子さんを支える会」

郵便振替 00110-4-613941 オリーブの樹

頒布価格 500円

## 「正誤」表

### 第 116 号

- |                    |   |
|--------------------|---|
| ① (短歌)二首目          | ～ <u>な</u> ずな萌え <u>始</u> む→～萌え <u>初</u> む                         |
| ② 4P(1/10)下から4行目   | 1/9 <u>重信のもの</u> →1/9 <u>受信のもの</u>                                |
| ③ 10P(2/5)右下から10行目 | 宮崎先生のお題「 <u>腹痛</u> 」→「 <u>腰痛</u> 」                                |
| ④ 11P(2/6)左上から9行目  | 12月12日で <u>緩解</u> → <u>寛解</u>                                     |
| ⑤ 11P(2/7)左上から6行目  | <u>夜のピンクの</u> → <u>庭のピンクの</u>                                     |
| ⑥ 11P(2/8)右下から8行目  | 話合う <u>方法</u> の <u>です</u> が。→～ <u>方法</u> な <u>の</u> です <u>が</u> 。 |